

整理番号 K-1304 (NEDO 110, 2-2528)	分解度試験		備考
<i>tert</i> -ブチルペルアセート (107-71-1)	事業対象年度 平成17年度		<ul style="list-style-type: none"> <li>・変化物がソーダライムに吸着すると予想されたため、前処理操作を考慮し、炭酸ガス吸収剤として水酸化ナトリウム溶液を使用した。</li> <li>・被験物質は(水+被験物質)系において変化し、酢酸(2-0688, K-1101, H5.3.23(181)良分解)、<i>tert</i>-ブチルヒドロペルオキシド(2-0224, K-1259, H10.4.27(232)難分解, H11.12.10(249)低濃縮)を生成した。</li> </ul>
	試験期間 18.1.23~18.4.26	試験装置 (株) 揮	
構造式(示性式)・物理化学的性状  $\text{H}_3\text{C}-\overset{\text{O}}{\parallel}{\text{C}}-\text{O}-\text{O}-\underset{\text{CH}_3}{\overset{\text{CH}_3}{\text{C}}}-\text{CH}_3$ 分子式 $\text{C}_8\text{H}_{12}\text{O}_3$ 分子量 132.16	試験濃度		$\text{H}_3\text{C}-\underset{\text{CH}_3}{\overset{\text{CH}_3}{\text{C}}}-\text{O}-\text{O}-\overset{\text{O}}{\parallel}{\text{C}}-\text{CH}_3 \longrightarrow \text{H}_3\text{C}-\underset{\text{CH}_3}{\overset{\text{CH}_3}{\text{C}}}-\text{O}-\text{OH} \quad \text{H}_3\text{C}-\text{COOH}$ 被験物質(一部が変化) <i>tert</i> -ブチルヒドロペルオキシド      酢酸
	有機物質 100 mg/L		
	汚泥 30 mg/L		
	本試験期間 4 週間		
	間接	BOD 14, 14, 13 (14)%	
直接	GC 100, 100, 100 (100)%		
純度*1 50.5%	外観 無色透明液体	審査部会 第56回	<ul style="list-style-type: none"> <li>一方、(汚泥+被験物質)系では、被験物質は部分的に分解され、<i>tert</i>-ブチルアルコール(2-3049, K-158, S51.3.25(22)難分解, S52.1.17(29)低濃縮)が生成し、残留した。</li> </ul>
不純物*1 (物質名, 含有率) 脂肪族炭化水素 49.5%	溶解度(対水, その他) 対水*3 5360 mg/L(25°C) 対酢酸エチル 10g/L以上	18年 7月21日開催	
融点 測定不可(純度が低い)		判定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・変化物である酢酸及び <i>tert</i>-ブチルヒドロペルオキシドの一部が炭酸ガス吸収剤に吸着された。</li> <li>・不純物である脂肪族炭化水素が水に溶解しないため、培養終了後の試験液に不溶物が認められた。よって、TOCによる分解度は算出しなかった。</li> </ul>
沸点*2 50~51°C(15 mmHg)	1-オクタノール/水分分配係数 log Kow = 1.44*4	備考	
比重*2 $d_4^{20}$ 0.9415		1.回収率 (水+被験物質)系 96.2% (汚泥+被験物質)系 84.4%	
LD50*5 675mg/kg(ラット, 経口)	安定性	2.実施機関 ・財団法人 化学物質評価研究機構	
IRチャートの有無 (有)・無		3.特記事項 ・入手試料は被験物質純度 50.5% の脂肪族炭化水素溶液である。	
用途*5 低密度ポリエチレン、スチレン、メタクリレート、ジアリルフタレートの重合開始剤、不飽和ポリエステル硬化剤			
生産量(年)			
試料 購入先 Aldrich Chemical			
経済産業公報発表年月日	年 月 日		

\*1 Aldrich Chemical 添付資料による。 \*2 有機化合物辞典(講談社)による。 \*3 The Physical Properties Database (Jan. 2000) (Syracuse Research Corporation) による。

\*4 Kowin v 1.67 による計算値。 \*5 14705 の化学商品(化学工業日報社)による。

濃縮度試験契約					濃縮度試験契約					毒性試験	
年 月 日					年 月 日					年 月 日	
試験期間					試験期間					依	
試験装置 標・揮 LC50値 mg/L( hr)魚種( )					試験装置 標・揮 LC50値 mg/L( hr)魚種( )					頼	
水槽設定濃度 ( )					水槽設定濃度 ( )					経過	
被験物質		分散剤			被験物質		分散剤				
第1濃度区					第1濃度区						
第2濃度区					第2濃度区						
第3濃度区					第3濃度区						
濃縮倍率		脂質含有率			濃縮倍率		脂質含有率				
		開始前 終了後 % 日後					開始前 終了後 % 日後				
		日後					日後				
第1	水槽濃度 ( )					第1	水槽濃度 ( )				
	倍率						倍率				
第2	水槽濃度 ( )					第2	水槽濃度 ( )				
	倍率						倍率				
第3	水槽濃度 ( )					第3	水槽濃度 ( )				
	倍率						倍率				
審査部会 第56回 18年 7月 21日 開催					審査部会 第 回 年 月 日 開催						
判定結果					判定結果						
備考					備考						
tert-ブチルアルコールから類推											
tert-ブチルアルコールの濃縮度試験結果											
[濃縮倍率] 1区(6 mg/L) : <0.5											
2区(0.6mg/L) : <5											
[実施機関] 財団法人 化学物質評価研究機構											

整理番号 K-1596 (NEDO 122,9-0764,9-2030)		分解度試験		分解度試験		分解度試験	
N-ステアリル-D-グルコンアミド (18375-66-1)		契約 13年 4月 6日		契約 年 月 日		契約 年 月 日	
		試験期間 14. 1.22~14. 4.12		試験期間 . . . ~ . . .		試験期間 . . . ~ . . .	
		試験装置 (標) ・ 揮		試験装置 標 ・ 揮		試験装置 標 ・ 揮	
構造式 (示性式) ・ 物理化学的性状 $  \begin{array}{c}  \text{CONH}-(\text{CH}_2)_{17}\text{CH}_3 \\    \\  \text{HC}-\text{OH} \\    \\  \text{HO}-\text{CH} \\    \\  \text{HC}-\text{OH} \\    \\  \text{HO}-\text{CH} \\    \\  \text{CH}_2\text{OH}  \end{array}  $ 分子式 $\text{C}_{24}\text{H}_{49}\text{NO}_6$ 分子量 447.65		試験濃度		試験濃度		試験濃度	
		被験物質 100 mg/L		被験物質 mg/L		被験物質 mg/L	
		汚泥 30 mg/L		汚泥 mg/L		汚泥 mg/L	
		本試験期間 4 週間		本試験期間 週間		本試験期間 週間	
		試験結果		試験結果		試験結果	
純度*1 95%		外観 白色粉末		間接		間接	
不純物 (物質名, 含有率) 残り 5% は不明		溶解度 (対水, その他) 対水 0.124µg/L (25°C) (カラム溶出法)		間接		間接	
融点*1 144~150°C		審査部会 第14回 14年 5月29日開催		間接		間接	
沸点 測定不可		判定 難分解性		試験結果		試験結果	
密度 1.113 g/cm³ (20°C)		1-オクタノール/水分配係数 log Kow = 5.39*2		直接		直接	
LD50		備考 1. 回収率 (水+被験物質)系 100% (汚泥+被験物質)系 100%		直接		直接	
IRチャートの有無 (有) ・ 無		2. 実施機関 ・株式会社 三菱化学安全科学研究所		試験結果		試験結果	
用途*1 難燃剤							
生産量 (年)							
試料							
経済産業公報発表年月日 年 月 日							

\*1 日本精化添付資料による。 \*2 Kowwin v 1.67 による計算値。

濃縮度試験 事業対象年度 平成17年度					濃縮度試験							
試験期間 17. 11. 11 ~ 18. 2. 21					試験期間 ~							
試験装置 (標)・揮		LC50 値 >1.50 mg/L(96hr)魚種(ヒメダカ)			試験装置 標・揮		LC50 値 mg/L( hr)魚種( )					
水槽設定濃度					水槽設定濃度 ( )							
	被験物質 (µg/L)	分散剤				被験物質	分散剤					
		HCO-40(µg/L)	テトラヒドロフラン(µg/L)	ジメチルスルホキシド(µL/L)								
第1濃度区	0.1	5	5	10	第1濃度区							
第2濃度区	0.01	0.5	0.5	10	第2濃度区							
第3濃度区					第3濃度区							
濃縮倍率 脂質含有率 開始前 3.45% 終了後 4.06% 魚種(コイ)					濃縮倍率 脂質含有率 開始前 % 終了後 % 魚種( )							
		12日後	25日後	39日後	49日後	60日後		日後	日後	日後	日後	日後
第1	水槽濃度(µg/L)	0.108	0.0887	0.0902	0.105	0.0902	第1	水槽濃度( )				
	倍率	770	840	710	890	750		倍率				
第2	水槽濃度(µg/L)	0.0109	0.00908	0.00916	0.0100	0.00937	第2	水槽濃度( )				
	倍率	780	710	650	650	740		倍率				
第3	水槽濃度( )						第3	水槽濃度( )				
	倍率							倍率				
審査部会 第56回 18年 7月 21日 開催					審査部会 第 回 年 月 日 開催							
判定結果					判定結果							
備考 [定常状態における濃縮倍率] 第1濃度区 790倍 第2濃度区 730倍 [回収率] [定量下限濃度] 試験水 86.6% 試験水 第1濃度区 0.0091 µg/L 第2濃度区 0.00091 µg/L 供試魚 87.1% 供試魚 1.9 ng/g [実施機関] 財団法人 化学物質評価研究機構					備考							

毒性試験  
年月日

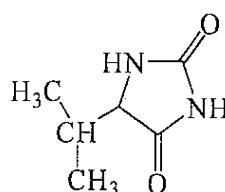
依  
頼  
経過

整理番号 K-1626 (NEDO 269, 5-0961)		分解度試験		分解度試験		分解度試験			
1-アミノエチルピペラジン (140-31-8)		事業対象年度 平成15年度		契約年月日		契約年月日			
		試験期間 15.10.24~15.12.26		試験期間 . . . ~ . . .		試験期間 . . . ~ . . .			
		試験装置 (標) ・ 揮		試験装置 標 ・ 揮		試験装置 標 ・ 揮			
構造式 (示性式) ・ 物理化学的性状  $\text{NH}_2\text{CH}_2\text{CH}_2\text{CH}_2\text{---N} \begin{array}{c} \diagup \\ \diagdown \end{array} \text{NH}$ 分子式 $\text{C}_6\text{H}_{15}\text{N}_3$ 分子量 129.20		試験濃度		試験濃度		試験濃度			
		被験物質 100 mg/L		被験物質 mg/L		被験物質 mg/L			
		汚泥 30 mg/L		汚泥 mg/L		汚泥 mg/L			
		本試験期間 4 週間		本試験期間 週間		本試験期間 週間			
		試験結果	間接	BOD 1, 0, -1 (0)%		試験結果	間接		
			直接	TOC 1, 1, 2 (1)%			直接		
GC 5, 1, 0 (2)%				直接					
純度*1 99.6%	外観 無色透明液体								
不純物*1 (物質名, 含有率) 残り 0.4%は不明	溶解度 (対水, その他) 対水*2 1000 g/L 以上 (20°C)	審査部会 第 34 回 16年 5月 28日開催		審査部会 第 回 年 月 日開催		審査部会 第 回 年 月 日開催			
融点*2 -18°C		判定 難分解性		判定		判定			
沸点*2 222°C (1013 hPa)	1-オクタノール/水分配係数 log Pow < 0.3 (pH 11.0) (HPLC法)	備考 1. 回収率 (水+被験物質)系 94% (汚泥+被験物質)系 94% 2. 実施機関 ・ 広栄テクノサービス株式会社		備考		備考			
密度*1 0.983 g/cm <sup>3</sup> (20°C)									
LD50	解離定数*3 (25°C) pKa = 9.55, 8.44								
IRチャートの有無 (有) ・ 無									
用途*4 輸出, 接着剤, 洗剤等, 殺虫剤・殺菌剤等									
生産量*4 (13年) 製造及び輸入 100~1,000 t未滿									
試料 購入先 和光純薬工業 和光一級									
経済産業公報発表年月日	年 月 日								

\*1 和光純薬工業添付資料による。 \*2 International Uniform Chemical Information Database (European Chemicals Bureau) (Edition 2000)による。  
\*3 J. M. Pagano, D. E. Goldberg, and W. C. Fernelius, *J. Phys. Chem.*, 1961, 65, 1062による。 \*4 化学物質の製造・輸入量に関する実態調査による。

濃縮度試験					事業対象年度 平成17年度					濃縮度試験											
試験期間					18. 2. 8 ~ 18. 3. 10					試験期間					~						
試験装置 標・揮		LC50値			mg/L( hr)魚種( )					試験装置 標・揮		LC50値			mg/L( hr)魚種( )						
水槽設定濃度 ( )										水槽設定濃度 ( )											
被験物質		分散剤			被験物質		分散剤			被験物質		分散剤									
第1濃度区					第1濃度区					第1濃度区											
第2濃度区					第2濃度区					第2濃度区											
第3濃度区					第3濃度区					第3濃度区											
濃縮倍率		脂質含有率			開始前		% 魚種( )			濃縮倍率		脂質含有率			開始前		% 魚種( )				
		終了後			%							終了後			%						
		日後			日後		日後			日後		日後			日後		日後				
第1	水槽濃度( )					第1		水槽濃度( )						第1		水槽濃度( )					
	倍率					第1		倍率						第1		倍率					
第2	水槽濃度( )					第2		水槽濃度( )						第2		水槽濃度( )					
	倍率					第2		倍率						第2		倍率					
第3	水槽濃度( )					第3		水槽濃度( )						第3		水槽濃度( )					
	倍率					第3		倍率						第3		倍率					
審査部会 第56回 18年 7月 21日 開催					審査部会 第 回 年 月 日 開催																
判定結果					判定結果																
備考					備考																
分配係数から類推																					
[実施機関] 財団法人 化学物質評価研究機構																					

毒性試験	
依 頼	年月日
	経過

整理番号 K-1662 (NEDO 238, 9-2190)	分解度試験	分解度試験	分解度試験
5-(1-メチルエチル)イミダゾリジン-2,4-ジオン	事業対象年度 平成14年度	契約年月日	契約年月日
(16935-34-5)	試験期間 14. 7. 26~14. 12. 16	試験期間 . . . ~ . . .	試験期間 . . . ~ . . .
	試験装置 (標) ・ 揮	試験装置 標 ・ 揮	試験装置 標 ・ 揮
構造式 (示性式) ・ 物理化学的性状    分子式 C <sub>6</sub> H <sub>10</sub> N <sub>2</sub> O <sub>2</sub> 分子量 142.16 組成式 C <sub>5.76</sub> H <sub>10.3</sub> N <sub>2.09</sub> O <sub>2.00</sub> (元素分析による)	試験濃度	試験濃度	試験濃度
	有機物質 100 mg/L	被験物質 mg/L	被験物質 mg/L
	汚泥 30 mg/L	汚泥 mg/L	汚泥 mg/L
	本試験期間 4 週間	本試験期間 週間	本試験期間 週間
	試験結果 間接 直接	BOD 0, 7, 4 (4%) TOC 3, 3, 5 (4%) HPLC 1, 3, 1 (2%)	試験結果 間接 直接
純度*1 53.68%	外観 白色の結晶性粉末		
不純物*1 (物質名, 含有率) 残り 46.32%は不明	溶解度 (対水, その他) 対水 25.0 g/L (25°C)	審査部会 第 22 回 15年 3月 24日開催	審査部会 第 回 年 月 日開催
融点*2 147.5~148.5°C		判定 難分解性	判定
沸点 混合物のため測定不可	1-オクタノール/水分係数 log Pow < 0.5 (pH7.0) (HPLC法)	備考 1. 回収率* (水+被験物質)系 100% (汚泥+被験物質)系 100% ※試験液を直接分析機器に導入。  2. 実施機関 ・財団法人 化学物質評価研究機構  3. 特記事項 ・TODは組成式から算出した。	備考
密度 1.264 g/cm <sup>3</sup> (25°C) (入手試料として)			
LD50	解離定数 (20°C) pKa = 9.46 (滴定法)		
IRチャートの有無 (有) ・ 無			
用途			
生産量*3 (13年) 製造及び輸入 100~1,000 t未満			
試料 購入先 Aldrich Chemical			
経済産業公報発表年月日 年 月 日			

\*1 HPLCによる。 \*2 Beilstein Handbook of Organic Chemistryによる。 \*3 化学物質の製造・輸入量に関する実態調査による。

濃縮度試験 事業対象年度 平成17年度					濃縮度試験				
試験期間 17. 11. 28 ~ 18. 4. 19					試験期間 ~				
試験装置 標・揮		LC50値 mg/L( hr)魚種( )			試験装置 標・揮		LC50値 mg/L( hr)魚種( )		
水槽設定濃度 ( )					水槽設定濃度 ( )				
被験物質		分散剤			被験物質		分散剤		
第1濃度区					第1濃度区				
第2濃度区					第2濃度区				
第3濃度区					第3濃度区				
濃縮倍率		脂質含有率 開始前 終了後 % % 魚種( )			濃縮倍率		脂質含有率 開始前 終了後 % % 魚種( )		
		日後	日後	日後	日後	日後	日後	日後	日後
第1	水槽濃度( )					第1	水槽濃度( )		
	倍率						倍率		
第2	水槽濃度( )					第2	水槽濃度( )		
	倍率						倍率		
第3	水槽濃度( )					第3	水槽濃度( )		
	倍率						倍率		
審査部会 第56回 18年 7月 21日 開催					審査部会 第 回 年 月 日 開催				
判定結果					判定結果				
備考					備考				
分配係数から類推									
[実施機関] 財団法人 化学物質評価研究機構									

毒性試験  
年月日

依頼  
経過



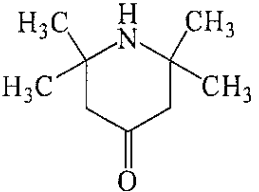
整理番号 K-1686 (NEDO 255, 2-2012)	分解度試験	分解度試験	分解度試験
2-エチルヘキシル=水素=(2-エチルヘキシル)ホスホナート	事業対象年度 平成15年度	契約 年 月 日	契約 年 月 日
(14802-03-0)	試験期間 15.11.4~16.2.20	試験期間 . . . ~ . . .	試験期間 . . . ~ . . .
	試験装置 (標)・揮	試験装置 標・揮	試験装置 標・揮
構造式(示性式)・物理化学的性状  $  \begin{array}{c}  \text{CH}_2\text{CH}_3 \\    \\  \text{O} \\  \parallel \\  \text{P} \\    \\  \text{HO}  \end{array}  \begin{array}{l}  \text{O}-\text{CH}_2-\text{CH} \\    \\  \text{CH}_2\text{CH}_2\text{CH}_2\text{CH}_2\text{CH}_3 \\    \\  \text{CH}_2-\text{CH} \\    \\  \text{CH}_2\text{CH}_2\text{CH}_2\text{CH}_2\text{CH}_3 \\    \\  \text{CH}_2\text{CH}_3  \end{array}  $ 分子式 C <sub>16</sub> H <sub>35</sub> O <sub>3</sub> P 分子量 306.42	試験濃度	試験濃度	試験濃度
	被験物質 100 mg/L	被験物質 mg/L	被験物質 mg/L
	汚泥 30 mg/L	汚泥 mg/L	汚泥 mg/L
	本試験期間 4 週間	本試験期間 週間	本試験期間 週間
	試験結果 間接 BOD 1, 0, 0 (0)%	試験結果 間接	試験結果 間接
	試験結果 直接 HPLC 0, 2, 2 (1)%	試験結果 直接	試験結果 直接
純度*1 95.7%(滴定法)	外観 無色~淡黄色透明液体	審査部会 第34回 16年 5月28日開催	審査部会 第 回 年 月 日開催
不純物*1 (物質名, 含有率) 2-エチルヘキシルホスホン酸2-エチルヘキシル 2.4% 2-エチルヘキシルホスホン酸(2-19%) 1.9%	溶解度(対水, その他) 対水 9.94 mg/L(フラスコ法)(25°C) 対メタノール 10 g/L 以上 対クロロホルム 10 g/L 以上	判定 難分解性	判定
融点*1 -50°C以下	1-オクタノール/水分分配係数 log Kow = 6.09*2	備考 1.回収率 (水+被験物質)系 96.5% (汚泥+被験物質)系 94.7% 2.実施機関 ・財団法人 化学物質評価研究機構	備考
沸点 262.3°C(大気圧)	解離定数*3 pKa = 2.92		
比重*1 0.954(20°C)			
LD50*1 >2,000 mg/kg(ラット,経口)			
IRチャートの有無 (有)・無			
用途*4 金属抽出剤			
生産量(年)			
試料			
経済産業公報発表年月日 年 月 日			

\*1 提供者添付資料による。 \*2 Kowwin v 1.67 による計算値。 \*3 Pallas 3.0 for Windows (Compu Drug 社製)による計算値 \*4 14705 の化学商品 (化学工業日報社) による。

濃縮度試験					事業対象年度					平成17年度					濃縮度試験				
試験期間					17. 8. 22 ~ 17. 10. 19					試験期間					~				
試験装置 (標)・揮					LC50値 >10.0 mg/L (96hr) 魚種(ヒメダカ)					試験装置 標・揮					LC50値 mg/L( hr) 魚種( )				
水槽設定濃度 (µg/L)										水槽設定濃度 ( )									
	被験物質	分散剤				被験物質	分散剤				被験物質	分散剤							
		HCO-40	N,N-ジメチルホルムアミド																
第1濃度区	100	1000	47000		第1濃度区					第1濃度区									
第2濃度区	10	100	47000		第2濃度区					第2濃度区									
第3濃度区					第3濃度区					第3濃度区									
濃縮倍率					脂質含有率 開始前 3.47% 終了後 2.36% 魚種(コイ)					濃縮倍率					脂質含有率 開始前 % 終了後 % 魚種( )				
		7日後	10日後	17日後	23日後	28日後							日後	日後	日後	日後	日後		
第1	水槽濃度 (µg/L)	103	99.2	91.6	90.2	90.7	第1	水槽濃度 ( )											
	倍率	≤0.60	1.6	1.5	2.0	1.2		倍率											
第2	水槽濃度 (µg/L)	9.48	9.62	9.06	9.96	10.0	第2	水槽濃度 ( )											
	倍率	≤6.0	≤6.0	26	11	8.6		倍率											
第3	水槽濃度 ( )						第3	水槽濃度 ( )											
	倍率	≤6.0	7.4	11	11	6.2		倍率											
審査部会 第56回 18年 7月 21日 開催					審査部会 第 回 年 月 日 開催														
判定結果					判定結果														
備考					備考														
[ばく露期間における濃縮倍率] 第1濃度区 ≤0.60~2.5倍 第2濃度区 ≤6.0~26倍 [回収率] [定量下限濃度] 試験水 100%※ 試験水 第1濃度区 4.7 µg/L 第2濃度区 0.47 µg/L 供試魚 81.4% 供試魚 58 ng/g																			
[実施機関] 財団法人 化学物質評価研究機構																			

※試験水を希釈して分析機器へ導入。

毒性試験	
依	年月日
頼	
経過	

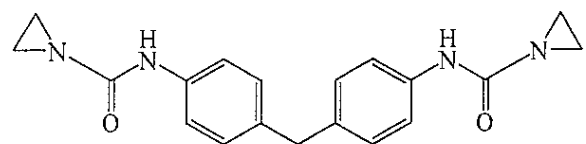
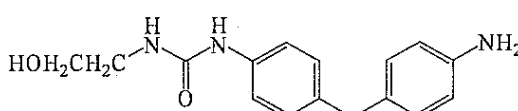
整理番号 K-1688 (NEDO 257, 5-0777)	分解度試験		分解度試験		分解度試験	
2, 2, 6, 6-テトラメチル-4-オキシピペリジン (826-36-8)	事業対象年度 平成15年度		契約 年 月 日		契約 年 月 日	
	試験期間 15. 9. 18~15. 12. 19		試験期間 . . . ~ . . .		試験期間 . . . ~ . . .	
	試験装置 (標) ・ 揮		試験装置 標 ・ 揮		試験装置 標 ・ 揮	
構造式 (示性式) ・ 物理化学的性状    分子式 C <sub>9</sub> H <sub>17</sub> NO      分子量 155.24	試験濃度		試験濃度		試験濃度	
	被験物質 100 mg/L		被験物質 mg/L		被験物質 mg/L	
	汚泥 30 mg/L		汚泥 mg/L		汚泥 mg/L	
	本試験期間 4 週間		本試験期間 週間		本試験期間 週間	
	試験結果	間接	BOD 4, 5, 5 (5)%	試験結果	間接	
直接		TOC 0, 0, 0 (0)% GC 1, 3, 2 (2)%	直接			
純度*1 99.8% (一水和物として)	外観 淡黄色結晶	審査部会 第31回 16年 1月30日開催	審査部会 第 回 年 月 日開催	審査部会 第 回 年 月 日開催	審査部会 第 回 年 月 日開催	
不純物*1 (物質名, 含有率) その他不明 0.2%	溶解度 (対水, その他) 対水 100 g/L 以上(25℃)	判定 難分解性	判定	判定	判定	
融点*1 60.8℃	1-オクタノール/水分分配係数 log Pow = 0.6 (pH 10.0) (HPLC法)	備考 1. 回収率* (水+被験物質)系 100% (汚泥+被験物質)系 100% ※試験液を直接分析機器に導入。 2. 実施機関 ・株式会社 三菱化学安全科学研究所	備考	備考	備考	
沸点*2 205~210℃ (10hPa)						
密度*2 0.9 g/cm <sup>3</sup> (50℃)						
LD50	解離定数 (20℃) pKa = 7.77 (滴定法)					
IRチャートの有無 (有) ・ 無						
用途						
生産量 (年)						
試料 購入先 東京化成工業 TCI-GR						
経済産業公報発表年月日	年 月 日					

\*1 東京化成工業添付資料による。

\*2 International Uniform Chemical Information Database (European Chemicals Bureau) (Edition 2000)による。

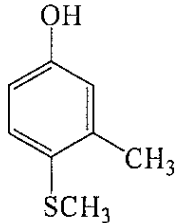
濃縮度試験					事業対象年度 平成17年度					濃縮度試験									
試験期間					18. 1. 19 ~ 18. 2. 8					試験期間					~				
試験装置 標・揮		LC50値			mg/L( hr)魚種( )			試験装置 標・揮		LC50値			mg/L( hr)魚種( )						
水槽設定濃度 ( )					水槽設定濃度 ( )														
被験物質		分散剤			被験物質		分散剤												
第1濃度区					第1濃度区														
第2濃度区					第2濃度区														
第3濃度区					第3濃度区														
濃縮倍率		脂質含有率			開始前		% 魚種( )			濃縮倍率		脂質含有率			開始前		% 魚種( )		
		終了後			%							終了後			%				
		日後			日後		日後					日後			日後		日後		
第1	水槽濃度 ( )					第1		水槽濃度 ( )											
	倍率					第1		倍率											
第2	水槽濃度 ( )					第2		水槽濃度 ( )											
	倍率					第2		倍率											
第3	水槽濃度 ( )					第3		水槽濃度 ( )											
	倍率					第3		倍率											
審査部会 第56回 18年 7月 21日 開催					審査部会 第 回 年 月 日 開催														
判定結果					判定結果														
備考					備考														
分配係数から類推																			
[実施機関] 財団法人 化学物質評価研究機構																			

毒性試験	
依	年月日
類	
経過	

整理番号 K-1690 (NEDO 259, 5-0008)	分解度試験	分解度試験	分解度試験
4,4'-ビス(エチレンイミノカルボニルアミノ)ジフェニルメタン	事業対象年度 平成15年度	契約 年 月 日	契約 年 月 日
(7417-99-4)	試験期間 15.12.24~16.4.16	試験期間 . . . ~ . . .	試験期間 . . . ~ . . .
構造式(示性式)・物理化学的性状	試験装置 (標)・揮	試験装置 標・揮	試験装置 標・揮
 <p>分子式 C<sub>19</sub>H<sub>20</sub>N<sub>4</sub>O<sub>2</sub> 分子量 336.39 組成式 C<sub>1.89</sub>H<sub>2.63</sub>N<sub>0.34</sub>O<sub>1.15</sub> (元素分析による)</p>	試験濃度	試験濃度	試験濃度
	被験物質 100 mg/L	被験物質 mg/L	被験物質 mg/L
	汚泥 30 mg/L	汚泥 mg/L	汚泥 mg/L
	本試験期間 4 週間	本試験期間 週間	本試験期間 週間
試験結果	間接 BOD 1, 0, 0 (0)%	間接	間接
	直接 HPLC 68, 68, 68 (68)%	直接	直接
純度* 25%	外観 白色分散液	審査部会 第35回	審査部会 第 回
不純物(物質名, 含有率) ナリキエチレンイミノカルボニルアミノ(7-0174) 4% 水分 71%	溶解度(対水, その他) 対水 変化のため測定不可 対アセトニトリル 1mg/L以下 対テトラヒドロフラン 1mg/L以上	16年 6月18日開催	年 月 日開催
融点 測定不可	1-オクタノール/水分配係数 log Pow = 1.4 (pH7.0) (HPLC法)	判定 難分解性	判定
沸点 測定不可		備考	
比重* 1.1(20℃)	安定性* 酸と反応して熱を発生	1. 実施機関 ・財団法人 化学物質評価研究機構 ・変化物A及びBは構造推定に至らなかった。	
LD <sub>50</sub> * 442mg/kg(経口、マウス) 2,000mg/kg(経皮、ラット)	解離定数(20℃) 測定不可(pH3.0~pH11.0間にpKaは存在しない)	2. 特記事項 ・試験液中で変化し、HPLCクロマトグラム上の保持時間から、被験物質より極性の高い変化物A、B及びCを検出した。 ・変化物Cの推定構造	
IRチャートの有無 (有)・無			
用途* 繊維処理剤、塗料、接着剤用各種水系樹脂の改質剤		<ul style="list-style-type: none"> <li>・被験物質は一部残留し、HPLCクロマトグラム上の保持時間から、生成残留した変化物はいずれも被験物質より極性が高いことから、後続試験は被験物質で実施し評価を行った。</li> </ul>	
生産量(年)			
試料			
経済産業公報発表年月日	年 月 日		

\* 日本触媒添付資料による。

濃縮度試験					事業対象年度 平成17年度					濃縮度試験					毒性試験									
試験期間					18. 2. 17 ~ 18. 4. 5					試験期間					年月日									
試験装置 標・揮		LC50値			mg/L( hr)魚種( )					試験装置 標・揮		LC50値			mg/L( hr)魚種( )									
水槽設定濃度 ( )										水槽設定濃度 ( )														
被験物質		分散剤								被験物質		分散剤												
第1濃度区										第1濃度区														
第2濃度区										第2濃度区														
第3濃度区										第3濃度区														
濃縮倍率		脂質含有率		開始前		終了後		% 魚種( )		濃縮倍率		脂質含有率		開始前		終了後		% 魚種( )						
		日後		日後		日後		日後				日後		日後		日後		日後						
第1	水槽濃度( )										第1	水槽濃度( )												
	倍率											倍率												
第2	水槽濃度( )										第2	水槽濃度( )												
	倍率											倍率												
第3	水槽濃度( )										第3	水槽濃度( )												
	倍率											倍率												
審査部会 第56回 18年 7月 21日 開催										審査部会 第 回 年 月 日 開催														
判定結果										判定結果														
備考										備考														
分配係数から類推																								
[実施機関] 財団法人 化学物質評価研究機構																								
																				経過				

整理番号 K-1699 (NEDO 268, 3-1100)	分解度試験	分解度試験	分解度試験
3-メチル-4-メチルチオフェノール (3120-74-9)	事業対象年度 平成15年度	契約 年 月 日	契約 年 月 日
	試験期間 15.10.6~15.12.19	試験期間 . . . ~ . . .	試験期間 . . . ~ . . .
	試験装置 (標) ・ 揮	試験装置 標 ・ 揮	試験装置 標 ・ 揮
構造式 (示性式) ・ 物理化学的性状    分子式 C <sub>8</sub> H <sub>10</sub> OS      分子量 154.23	試験濃度	試験濃度	試験濃度
	被験物質 100 mg/L	被験物質 mg/L	被験物質 mg/L
	汚泥 30 mg/L	汚泥 mg/L	汚泥 mg/L
	本試験期間 4 週間	本試験期間 週間	本試験期間 週間
	試験結果	試験結果	試験結果
間接	BOD 0, 0, 0 (0)%	間接	
直接	TOC -3, -7, -3 (0)%	直接	
	HPLC 1, 2, 2 (2)%		
純度*1 99.1%	外観 橙色粉末		
不純物 (物質名, 含有率) 残り 0.9%は不明	溶解度 (対水, その他) 対水 2.23 g/L(25°C)	審査部会 第 31 回 16年 1月30日開催	審査部会 第 回 年 月 日開催
融点*1 55.8°C		判定 難分解性	判定
沸点*2 278°C(1013hPa)	1-オクタノール/水分配係数 log Pow = 2.6(pH2.0) (HPLC法)	備考	備考
密度*2 1.11 g/cm <sup>3</sup> (60°C)		1. 回収率* (水+被験物質)系 100% (汚泥+被験物質)系 100% *試験液を直接分析機器に導入。	
LD50	解離定数 (25°C) pKa = 9.60 (分光光度法)	2. 実施機関 ・株式会社 三菱化学安全科学研究所	
IRチャートの有無 (有) ・ 無		3. 特記事項 ・分解度の平均値が負の値に算出されたため、0と表記した。	
用途			
生産量 (年)			
試料 購入先 東京化成工業 TCI-EP			
経済産業公報発表年月日 年 月 日			

\*1 東京化成工業添付資料による。

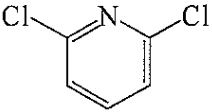
\*2 International Uniform Chemical Information Database(European Chemicals Bureau)(Edition 2000)による。

濃縮度試験					事業対象年度 平成17年度					濃縮度試験									
試験期間					17.11.25 ~ 17.12.15					試験期間					~				
試験装置 標・揮		LC50値			mg/L( hr)魚種( )			試験装置 標・揮		LC50値			mg/L( hr)魚種( )						
水槽設定濃度 ( )					水槽設定濃度 ( )														
被験物質		分散剤			被験物質		分散剤												
第1濃度区					第1濃度区														
第2濃度区					第2濃度区														
第3濃度区					第3濃度区														
濃縮倍率		脂質含有率			開始前		% 魚種( )			濃縮倍率		脂質含有率			開始前		% 魚種( )		
		終了後			%							終了後			%				
		日後			日後		日後					日後			日後		日後		
第1	水槽濃度 ( )					第1		水槽濃度 ( )											
	倍率					第1		倍率											
第2	水槽濃度 ( )					第2		水槽濃度 ( )											
	倍率					第2		倍率											
第3	水槽濃度 ( )					第3		水槽濃度 ( )											
	倍率					第3		倍率											
審査部会 第56回 18年 7月 21日 開催					審査部会 第 回 年 月 日 開催														
判定結果					-					判定結果									
備考					分配係数から類推					備考									
[実施機関] 財団法人 化学物質評価研究機構																			

毒性試験  
年月日

経過



整理番号 K-1702 (NEDO 272, 5-3688)	分解度試験	分解度試験	分解度試験
2,6-ジクロロピリジン (2402-78-0)	事業対象年度 平成15年度	契約年月日	契約年月日
	試験期間 15. 9.29~15.12.18	試験期間 . . . ~ . . .	試験期間 . . . ~ . . .
	試験装置 (標)・揮	試験装置 標・揮	試験装置 標・揮
構造式(示性式)・物理化学的性状    分子式 C <sub>5</sub> H <sub>3</sub> Cl <sub>2</sub> N 分子量 147.99	試験濃度	試験濃度	試験濃度
	被験物質 100 mg/L	被験物質 mg/L	被験物質 mg/L
	汚泥 30 mg/L	汚泥 mg/L	汚泥 mg/L
	本試験期間 4 週間	本試験期間 週間	本試験期間 週間
	試験結果 間接 BOD 0, -3, -3 (0)% 直接 TOC 6, 5, 9 (6)% HPLC 3, 4, 6 (4)%	試験結果 間接 直接	試験結果 間接 直接
純度*1 99.0%	外観 白色結晶性粉末	審査部会 第31回 16年 1月30日開催	審査部会 第 回 年 月 日開催
不純物(物質名,含有率) 残り1.0%は不明	溶解度(対水,その他) 対水 842 mg/L(25°C)	判定 難分解性	判定
融点*2 87~89°C	1-オクタノール/水分係数 log Pow = 2.0(pH7.0) (HPLC法)	備考 1.回収率 (水+被験物質)系 99% (汚泥+被験物質)系 99% 2.実施機関 ・株式会社 三菱化学安全科学研究所 3.特記事項 ・被験物質は一部が気相中に揮発したと推察される。 ・分解度の平均値が負の値に算出されたため、0と表記した。	備考 ・TOC及びHPLCによる分解度は被験物質の揮発性が認められたが、(水+被験物質)系を基準に分解度を算出した。
沸点*3 211°C			
密度 1.588 g/cm <sup>3</sup> (25°C)			
LD50			
IRチャートの有無 (有)・無	解離定数(20°C) 測定不可(pH1.0~pH13.0間にpKaは存在しない)		
用途*4 医薬・農薬用原料			
生産量(年)			
試料 購入先 東京化成工業 TCI-GR			
経済産業公報発表年月日	年 月 日		

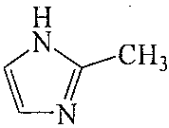
\*1 東京化成工業添付資料による。 \*2 Dictionary of Organic Compounds (6th edition) による。

\*3 The Physical Properties Database (Syracuse Research Corporation)による。 \*4 14705の化学商品(化学工業日報社)による。

濃縮度試験					事業対象年度 平成17年度					濃縮度試験											
試験期間					17. 11. 17 ~ 17. 12. 6					試験期間					~						
試験装置 標・揮		LC50 値			mg/L( hr)魚種( )					試験装置 標・揮		LC50 値			mg/L( hr)魚種( )						
水槽設定濃度 ( )										水槽設定濃度 ( )											
被験物質		分散剤			被験物質		分散剤			被験物質		分散剤									
第1濃度区					第1濃度区					第1濃度区											
第2濃度区					第2濃度区					第2濃度区											
第3濃度区					第3濃度区					第3濃度区											
濃縮倍率		脂質含有率			開始前		% 魚種( )			濃縮倍率		脂質含有率			開始前		% 魚種( )				
		終了後			日後		日後					終了後			日後		日後				
第1	水槽濃度 ( )					日後					第1	水槽濃度 ( )					日後				
	倍率					日後						倍率					日後				
第2	水槽濃度 ( )					日後					第2	水槽濃度 ( )					日後				
	倍率					日後						倍率					日後				
第3	水槽濃度 ( )					日後					第3	水槽濃度 ( )					日後				
	倍率					日後						倍率					日後				
審査部会 第56回 18年 7月 21日 開催					審査部会 第 回 年 月 日 開催																
判定結果					判定結果																
備考					備考																
分配係数から類推																					
[実施機関] 財団法人 化学物質評価研究機構																					

毒性試験  
年月日

経過

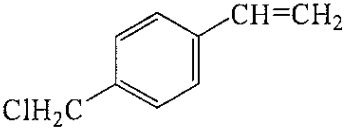
整理番号 K-1706 (NEDO 277, 5-0382)	分解度試験	分解度試験	分解度試験	
2-メチルイミダゾール (693-98-1)	事業対象年度 平成15年度	契約年月日	契約年月日	
	試験期間 15.10.10~15.12.18	試験期間 . . . ~ . . .	試験期間 . . . ~ . . .	
	試験装置 (標)・揮	試験装置 標・揮	試験装置 標・揮	
構造式 (示性式)・物理化学的性状    分子式 C <sub>4</sub> H <sub>6</sub> N <sub>2</sub> 分子量 82.10	試験濃度	試験濃度	試験濃度	
	被験物質 100 mg/L	被験物質 mg/L	被験物質 mg/L	
	汚泥 30 mg/L	汚泥 mg/L	汚泥 mg/L	
	本試験期間 4 週間	本試験期間 週間	本試験期間 週間	
	試験結果 間接	BOD 0, -1, -1 (0)%	試験結果 間接	試験結果 間接
		TOC 3, 1, 0 (1)%		
試験結果 直接	HPLC 2, 1, 1 (1)%	試験結果 直接	試験結果 直接	
純度*1 97.2%	外観 無色柱状または板状晶			
不純物 (物質名, 含有率) 残り 2.8%は不明	溶解度 (対水, その他) 対水 100 g/L 以上 (25°C)	審査部会 第 31 回 16年 1月 30日開催	審査部会 第 回 年 月 日開催	
融点*2 186°C		判定 難分解性	判定	
沸点*2 267°C	1-オクタノール/水分配係数 log Pow <0.5 (pH9.0) (HPLC法)	備考 1. 回収率* (水+被験物質)系 100% (汚泥+被験物質)系 100% ※試験液を直接分析機器に導入。	備考	
密度 0.271 g/cm <sup>3</sup> (25°C)				
LD <sub>50</sub>	解離定数*3 (25°C) pKa = 7.86	備考	備考	
IRチャートの有無 (有)・無				
用途*4 輸出用、中間物		2. 実施機関 ・株式会社 三菱化学安全科学研究所	備考	
生産量*4 (13年) 製造及び輸入 100~1,000 t未滿				
試料 購入先 東京化成工業 TCI-GR		3. 特記事項 ・分解度の平均値が負の値に算出されたため、0と表記した。	備考	
経済産業公報発表年月日 年 月 日				

\*1 東京化成工業添付資料による。 \*2 Dictionary of Organic Compounds (6th edition) による。 \*3 F. Schneider, Z. Physiol. Chem., 334, 26 (1963) による。  
\*4 化学物質の製造・輸入量に関する実態調査による。

濃縮度試験					事業対象年度 平成17年度					濃縮度試験											
試験期間					17. 11. 28 ~ 18. 4. 17					試験期間											
試験装置 標・揮		LC50値			mg/L( hr)魚種( )					試験装置 標・揮		LC50値			mg/L( hr)魚種( )						
水槽設定濃度 ( )										水槽設定濃度 ( )											
		被験物質			分散剤							被験物質			分散剤						
第1濃度区										第1濃度区											
第2濃度区										第2濃度区											
第3濃度区										第3濃度区											
濃縮倍率		脂質含有率			開始前 % 終了後 % 魚種( )					濃縮倍率		脂質含有率			開始前 % 終了後 % 魚種( )						
		日後			日後 日後 日後 日後 日後							日後			日後 日後 日後 日後 日後						
第1	水槽濃度 ( )										第1	水槽濃度 ( )									
	倍率											倍率									
第2	水槽濃度 ( )										第2	水槽濃度 ( )									
	倍率											倍率									
第3	水槽濃度 ( )										第3	水槽濃度 ( )									
	倍率											倍率									
審査部会 第56回 18年 7月 21日 開催					審査部会 第 回 年 月 日 開催																
判定結果										判定結果											
備考										備考											
分配係数から類推																					
[実施機関] 財団法人 化学物質評価研究機構																					

毒性試験  
年月日

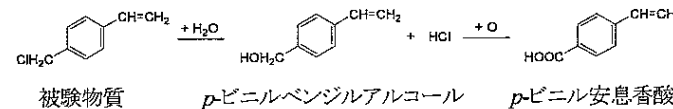
経過

整理番号 K-1708 (NEDO 279, 3-0046)	分解度試験	分解度試験	分解度試験
クロロメチルスチレン	事業対象年度 平成16年度	契約 年 月 日	契約 年 月 日
[4-クロロメチルスチレンにて試験実施] (1592-20-7)	試験期間 17. 2. 1~17. 6. 17	試験期間 . . . ~ . . .	試験期間 . . . ~ . . .
	試験装置 (標) ・ 揮	試験装置 標 ・ 揮	試験装置 標 ・ 揮
構造式 (示性式) ・ 物理化学的性状    分子式 C <sub>9</sub> H <sub>9</sub> Cl 分子量 152.62 組成式 C <sub>8.38</sub> H <sub>8.02</sub> Cl <sub>1.00</sub> O <sub>0.06</sub> (元素分析による)	試験濃度	試験濃度	試験濃度
	有機物質 100 mg/L	被験物質 mg/L	被験物質 mg/L
	汚泥 30 mg/L	汚泥 mg/L	汚泥 mg/L
	本試験期間 4 週間	本試験期間 週間	本試験期間 週間
	試験結果 間接	試験結果 間接	試験結果 間接
	BOD -3, -1, -4 (0)%		
	試験結果 直接	試験結果 直接	試験結果 直接
	HPLC 100, 100, 100(100)%		
純度*1 94.6%	外観 淡黄色液体		
不純物 (物質名, 含有率) *1 残り 5.4%は不明 (有機物と考えられる)	溶解度 (対水, その他) 対水 変化のため測定不可 対メタノール 10 g/L 以上	審査部会 第 49 回 17年11月18日開催	審査部会 第 回 年 月 日開催
融点 -20.6°C		判定 難分解性	判定
沸点*2 229°C	1-オクタノール/水分配係数 log Kow = 3.70*4	備考 1. 回収率 (水 + 被験物質) 系 96.6% (汚泥 + 被験物質) 系 98.0% 2. 実施機関 ・ 財団法人 化学物質評価研究機構 3. 特記事項 ・ 試料の純度が低いため、TOD 及び理論 DOC は組成式より算出した。 ・ 分解度の平均値が負の値に算出されたため、0 と表記した。	被験物質は試験液中で加水分解により消失し、 <i>p</i> -ビニルベンジルアルコール (新規物質 log Kow = 1.98*4) が生成し、残留することを確認した。さらに一部変化し、 <i>p</i> -ビニル安息香酸 (新規物質 log Kow = 2.78*4) を 3~5% 生成し、残留した。また、HPLC クロマトグラム上の保持時間から、 <i>p</i> -ビニルベンジルアルコールと <i>p</i> -ビニル安息香酸は被験物質より極性が高く、 <i>p</i> -ビニルベンジルアルコールの方が <i>p</i> -ビニル安息香酸より極性が高い。従って、後続試験は変化物のうち、より極性の低い <i>p</i> -ビニル安息香酸で実施し評価を行った。
比重*2 1.083	安定性 水中で加水分解する		
LD <sub>50</sub> *3 960mg/kg (経口, ラット)			
IRチャートの有無 (有) ・ 無			
用途*3 イオン交換膜、レジスト、写真材料、ゴム・ラテックス改質、シランカップリング剤、樹脂改質			
生産量			
試料 購入先 東京化成工業			
経済産業公報発表年月日 年 月 日			

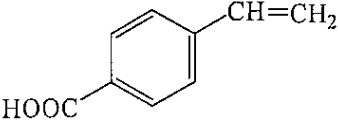
\*1 東京化成工業添付資料による。  
\*4 Kowwin v 1.67 による計算値。

\*2 Sigma-Aldrich Material Safety Data Sheets (11/1998-1/1999) による。

\*3 14705 の化学商品 (化学工業日報社) による。



濃縮度試験					事業対象年度					平成17年度					濃縮度試験					濃縮度試験					毒性試験														
試験期間										試験期間										年月日																			
試験装置 標・揮					LC50値					mg/L( hr)魚種( )					試験装置 標・揮					LC50値					mg/L( hr)魚種( )					依 頼									
水槽設定濃度 ( )										水槽設定濃度 ( )																													
		被験物質		分散剤					被験物質		分散剤					被験物質		分散剤			経過																		
第1濃度区										第1濃度区																													
第2濃度区										第2濃度区																													
第3濃度区										第3濃度区																													
濃縮倍率					脂質含有率					開始前					濃縮倍率					脂質含有率											開始前								
					終了後					%										終了後											%								
					日後					日後										日後											日後								
第1	水槽濃度( )					第1		水槽濃度( )					第1		水槽濃度( )																								
	倍率					倍率					倍率					倍率																							
第2	水槽濃度( )					第2		水槽濃度( )					第2		水槽濃度( )																								
	倍率					倍率					倍率					倍率																							
第3	水槽濃度( )					第3		水槽濃度( )					第3		水槽濃度( )																								
	倍率					倍率					倍率					倍率																							
審査部会 第56回 18年 7月 21日 開催										審査部会 第 回 年 月 日 開催																													
判定結果										判定結果																													
備考										備考																													
p-ビニル安息香酸から類推																																							
[実施機関] 財団法人 化学物質評価研究機構																																							

整理番号 K-1708変化物 (NEDO番号 279)		分解度試験		分解度試験		分解度試験				
p-ビニル安息香酸 (1075-49-6)		事業対象年度 平成 年度		契約 年 月 日		契約 年 月 日				
		試験期間 . . . ~ . . .		試験期間 . . . ~ . . .		試験期間 . . . ~ . . .				
		試験装置 標・揮		試験装置 標・揮		試験装置 標・揮				
構造式(示性式)・物理化学的性状    分子式 C <sub>9</sub> H <sub>8</sub> O <sub>2</sub> 分子量 148.16		試験濃度		試験濃度		試験濃度				
		被験物質 mg/L		被験物質 mg/L		被験物質 mg/L				
		汚泥 mg/L		汚泥 mg/L		汚泥 mg/L				
		本試験期間 週間		本試験期間 週間		本試験期間 週間				
		試験結果	間接	BOD , , (%)	試験結果	間接		試験結果	間接	
			直接	TOC , , (%)		直接			直接	
HPLC , , (%)										
LC-MS										
純度*1 99.9%	外観 白色結晶性粉末	審査部会 第 回		審査部会 第 回		審査部会 第 回				
不純物*1 (物質名, 含有率) 残り 0.1%については不明	溶解度(対水, その他)	年 月 日開催		年 月 日開催		年 月 日開催				
融点*2 143~144℃		判定		判定		判定				
沸点	1-オクタノール/水分配係数 log Pow = 2.1(pH2.0) (HPLC法)	備考		備考		備考				
比重										
LD50	解離定数 (20℃) pKa = 4.07(分光光度法)									
IRチャートの有無 (有)・無										
用途										
生産量(年)										
試料 購入先 和光純薬工業										
経済産業公報発表年月日	年 月 日									

\*1 和光純薬工業添付資料による。

\*2 International Uniform Chemical Information Database(European Chemicals Bureau)(Edition 2000)による。

濃縮度試験					事業対象年度 平成17年度					濃縮度試験					毒性試験									
試験期間					18. 2. 9 ~ 18. 3. 24					試験期間					年月日									
試験装置 標・揮		LC50 値			mg/L( hr)魚種( )			試験装置 標・揮		LC50 値			mg/L( hr)魚種( )			依 頼  経過								
水槽設定濃度 ( )										水槽設定濃度 ( )														
被験物質		分散剤			被験物質		分散剤			被験物質		分散剤												
第1濃度区					第1濃度区					第1濃度区														
第2濃度区					第2濃度区					第2濃度区														
第3濃度区					第3濃度区					第3濃度区														
濃縮倍率		脂質含有率			開始前 終了後			% 魚種( )		濃縮倍率		脂質含有率			開始前 終了後						% 魚種( )			
		日後			日後			日後		日後		日後			日後						日後			
第1		水槽濃度( )								第1		水槽濃度( )												
		倍率										倍率												
第2		水槽濃度( )								第2		水槽濃度( )												
		倍率										倍率												
第3		水槽濃度( )								第3		水槽濃度( )												
		倍率										倍率												
審査部会 第56回 18年 7月 21日 開催										審査部会 第 回 年 月 日 開催														
判定結果										判定結果														
備考										備考														
分配係数から類推																								
[実施機関] 財団法人 化学物質評価研究機構																								